

未来につながるアクション



今月は「海の汚染」に関するアクションをご紹介します。海がない長野県ですが、上流から海の豊かさを守る行動を一緒に考えてみませんか。



キーワードは「マイクロプラスチック」

プラスチックごみのうち、毎年約800万トンが世界中の海に流れ出て、それが原因で海の生き物たちに大きな影響を与えています。マイクロプラスチックは、直径5ミリ以下の微小サイズのプラスチックです。魚がエサと間違えて食べてしまいその魚を私たちが食べているのです。参照：一般社団法人 海と日本プロジェクトin長野

マイクロプラスチックは2種類に分けられます



プラスチック繊維のスポンジで食器を洗ったり、化学繊維の衣類を洗濯したりすることで、マイクロプラスチックが排水とともに流れ出てしまいます。洗顔料に含まれるマイクロビーズや、掃除に使われるメラミンスポンジ、人工芝などもマイクロプラスチックの一種です。これらは紫外線や川・海の流れによって、時間をかけてさらに細かく砕けていきます。

□海にやさしい選択をしよう！

- ✓ 衣類を洗濯するときに洗濯ネットを使用する
➡ 繊維くずが出にくくなり、生地も傷みにくくなる
- ✓ セルローススポンジやたわしを使う
➡ 泡立ちが良く、自然素材なので使い心地もやさしい
- ✓ 自然の芝やウッドチップを使う
➡ 見た目がやわらかく、夏でも熱をもちにくい

